

インターンシップ		実習	就職委員会
科目カテゴリー	自由科目	科目ナンバリング	11400301 12400301 13400201

1. 授業のねらい・概要

インターンシップは、学生が企業や自治体などで就業体験を行うもので、学生それぞれが職業適性を知り、職業選択や将来の人生設計について考える重要な機会になる。本科目では、まずインターンシップ参加に先立って必要になる知識やスキル、ビジネスマナーを身につけ、実習に参加するための準備を行う。参加後は就業体験を通して学んだことを報告書にまとめ、報告会を開催して、参加者だけでなく学生どうしがそれぞれの体験で学んだ教訓や情報を交換、共有し合い、就職活動に向けて主体的に職業選択を行い、就職活動を成功させていく一助とすることを目的とする。

2. 授業の進め方

授業は事前学修、就業体験、事後学修に分けられる。事前学修ではインターンシップに参加するための準備を行い、就業体験では日報と報告書を作成し、事後学修ではそれぞれが作成した報告書を資料として報告会を開催する。

3. 授業計画

1. ガイダンス 〈事前学修〉 2. 業界研究 3. 自己分析 4. 実習先の選定・応募方法 5. ビジネスマナー 6. 報告書作成の仕方	〈就業体験〉 7. ～13. 実習（計5日以上）ならびに報告書作成 〈事後学修〉 14. インターンシップ報告会① 15. インターンシップ報告会②
---	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前学修では取り上げるテーマについて自らリサーチを行い、授業後はインターンシップ参加に必要な知識やスキル、マナーに関することがらを復習し、身につけておくことが求められる。就業体験中は日報を作成し、終了後は就業体験について報告書を作成しなければならない。事後学修では報告書をもとに発表するための準備が必要になる。それぞれに毎回2時間程度、必要になる。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

報告会において講評を行い、課題や改善点を指摘する。

6. 授業における学修の到達目標

- (1)インターンシップに必要な知識やスキル、ビジネスマナーを身につける。
- (2)就業体験を通して実務能力を身につける。
- (3)それぞれの職業観を具体化させ、主体的に職業選択を行い、就職活動に臨める力を身につける。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢(50%)、実習先企業等による評価・インターンシップ報告書(50%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

必要に応じて紹介する。

9. 受講上の留意事項

インターンシップは、夏期休暇中に5日以上参加すること。

インターンシップは実習先のご厚意で行われるものであり、実習先への感謝の気持ちを持って臨むこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当なし。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。